

第57回 滋賀県政世論調査

単純集計結果

単純集計のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（％）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（％）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（％）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（％）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つの選択肢を集約した割合（「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足度』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- (3) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。また、図中の「n」は当該選択肢の規正回答者数を示す。
- (4) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

令和6年度

滋 賀 県

目 次

| | |
|----------------|---|
| I. 調査実施概要..... | 1 |
| II. 単純集計表..... | 8 |

I. 調査実施概要

1. 調査目的

滋賀県基本構想に即した「満足度」「要望度」や県政の当面する主要課題等をテーマに県民の意識・意向を調査し、今後の施策や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2. 調査期間

令和6年6月14日（金）～令和6年7月1日（月）

3. 調査設計

| | |
|------|---------------------|
| 調査地域 | 滋賀県内全域 |
| 調査対象 | 県内在住の満18歳以上の個人 |
| 標本数 | 3,000人 |
| 抽出台帳 | 選挙人名簿 |
| 抽出方法 | 層化二段無作為抽出法・地域別（7地域） |
| 調査票 | 日本語 |

4. 調査方法

郵送法・オンライン調査法の併用、無記名方式、督促1回

5. 調査機関

日本情報通信株式会社

6. 調査項目

- (1) 県政全体について
- (2) 県の広報・広聴活動について
- (3) 「環境こだわり農産物」および「有機農産物」について
- (4) 子ども・若者支援について
- (5) 県政に関する意見

7. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

| | |
|-----|---------------------|
| 大津 | 大津市 |
| 湖南 | 草津市、守山市、栗東市、野洲市 |
| 甲賀 | 甲賀市、湖南市 |
| 東近江 | 近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町 |
| 湖東 | 彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町 |
| 湖北 | 長浜市、米原市 |
| 湖西 | 高島市 |

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における18歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4)調査結果の集計表示方法」を参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

| | 推定母集団（人） | 標本数（人） | 地点数（地点） |
|-----|-----------|--------|---------|
| 大津 | 284,971 | 719 | 48 |
| 湖南 | 278,633 | 704 | 46 |
| 甲賀 | 114,347 | 288 | 19 |
| 東近江 | 183,689 | 463 | 31 |
| 湖東 | 124,774 | 314 | 24 |
| 湖北 | 124,260 | 313 | 21 |
| 湖西 | 39,357 | 199 | 14 |
| 合計 | 1,150,031 | 3,000 | 203 |

注1) 抽出地点は、令和2年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 推定母集団は、令和6年3月1日現在の選挙人名簿定時登録者数から算出した。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,928件で、有効回収率は全体で64.3%となった。

なお、郵送とインターネットの両方で回答があったものについては、インターネット回答のみを有効とした。

| | 標本数 (人) | 有効回収数 (件) | | 有効回収 率 (%) | ※参考 ネット回答 割合 |
|--------|------------|-----------|-------------|------------------|--------------------|
| | | | うち ネット回答 | | |
| 大津 | 719 | 433 | 202 | 60.2 | 46.7% |
| 湖南 | 704 | 469 | 224 | 66.6 | 47.8% |
| 甲賀 | 288 | 191 | 97 | 66.3 | 50.8% |
| 東近江 | 463 | 313 | 147 | 67.6 | 47.0% |
| 湖東 | 314 | 175 | 70 | 55.7 | 40.0% |
| 湖北 | 313 | 208 | 87 | 66.5 | 41.8% |
| 湖西 | 199 | 127 | 58 | 63.8 | 45.7% |
| 不明・無回答 | | 12 | 0 | — | 0.0% |
| 合計 | 3,000 | 1,928 | 885 | 64.3 | 45.9% |

(4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

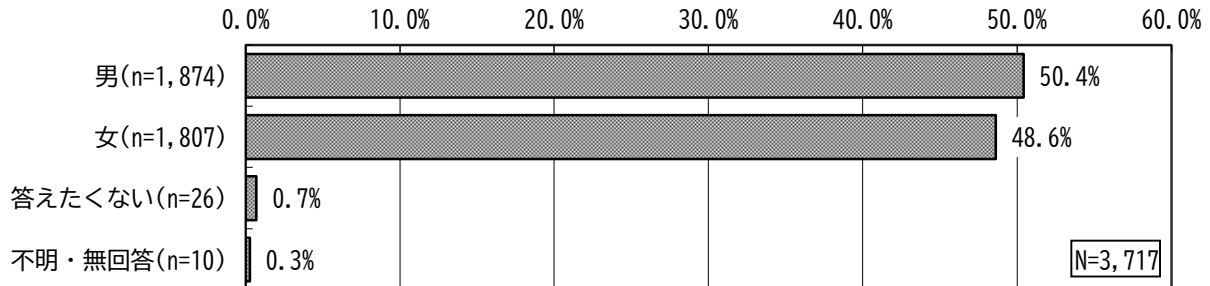
| | 抽出 ウェイト | 標本数 (人) | 有効回収数 (件) | 集計 ウェイト | 規正標本数 (件) |
|--------|------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 大津 | 1 / 2 | 719 | 433 | 2 | 866 |
| 湖南 | 1 / 2 | 704 | 469 | 2 | 938 |
| 甲賀 | 1 / 2 | 288 | 191 | 2 | 382 |
| 東近江 | 1 / 2 | 463 | 313 | 2 | 626 |
| 湖東 | 1 / 2 | 314 | 175 | 2 | 350 |
| 湖北 | 1 / 2 | 313 | 208 | 2 | 416 |
| 湖西 | 1 | 199 | 127 | 1 | 127 |
| 不明・無回答 | | | 12 | — | 12 |
| 合計 | — | 3,000 | 1,928 | — | 3,717 |

8. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、居住地域別、職業別、勤務地（通学地）別、居住歴別にみた結果を示す。

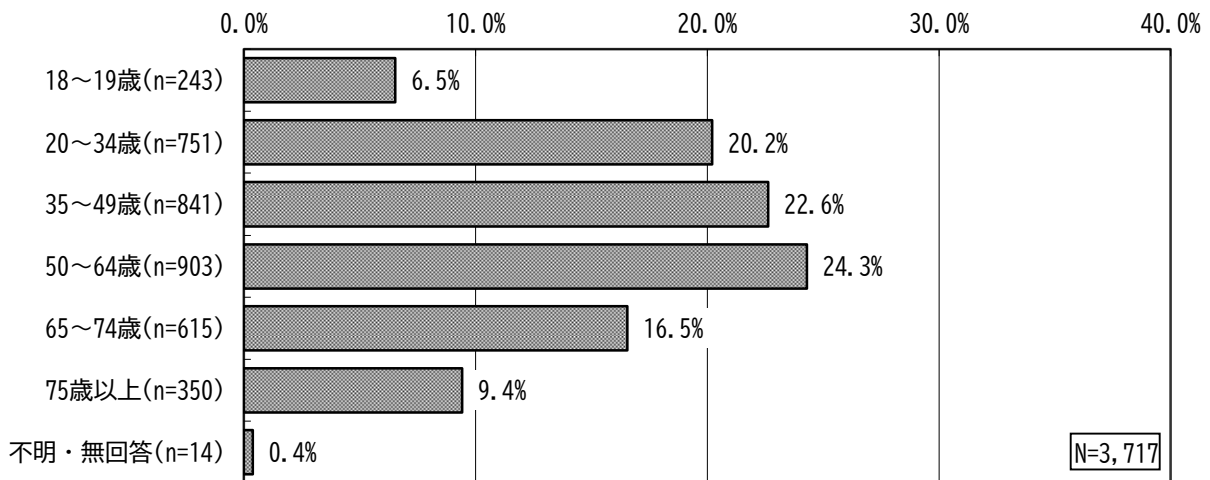
（1）性別

性別は、「男性」が50.4%、「女性」が48.6%となっている。



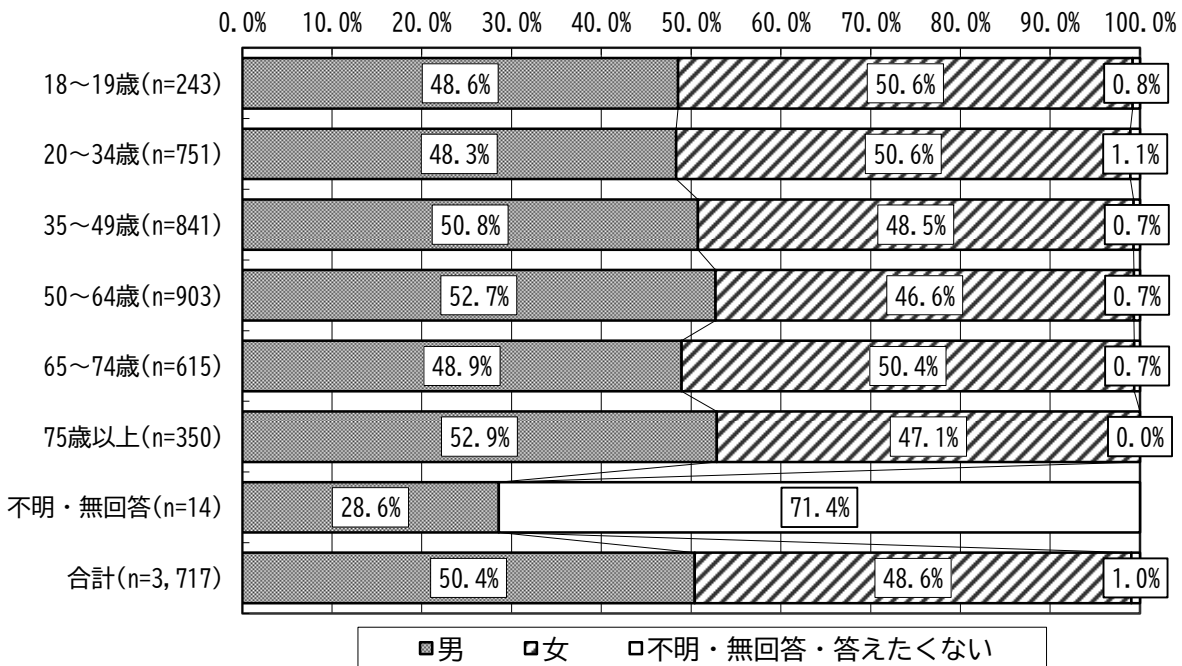
（2）年代別

年代は、「50～64歳」が24.3%で最も多く、以下、「35～49歳」が22.6%、「20～34歳」が20.2%、「65～74歳」が16.5%と続いている。



(3) 性・年代別

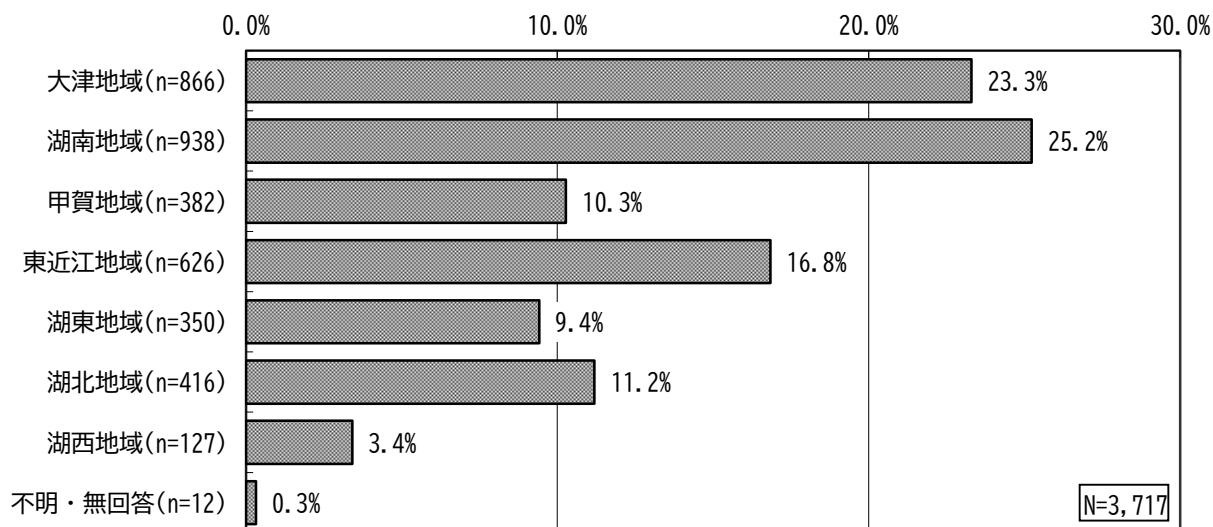
性・年代別の構成をみると、女性では18～19歳、20～34歳、65歳～74歳で50%以上を占め、男性の比率を上回っている。男性では35～49歳、50～64歳、75歳以上で50%以上を占め、女性の比率を上回っている。



| | 規正標本数 (件) | 男性 (%) | 女性 (%) | 不明・無回答・ 答えたくない (%) |
|--------|--------------|-----------|-----------|--------------------------|
| 18～19歳 | 243 | 48.6 | 50.6 | 0.8 |
| 20～34歳 | 751 | 48.3 | 50.6 | 1.1 |
| 35～49歳 | 841 | 50.8 | 48.5 | 0.7 |
| 50～64歳 | 903 | 52.7 | 46.6 | 0.7 |
| 65～74歳 | 615 | 48.9 | 50.4 | 0.7 |
| 75歳以上 | 350 | 52.9 | 47.1 | 0.0 |
| 不明・無回答 | 14 | 28.6 | 0.0 | 71.4 |
| 合計 | 3,717 | 50.4 | 48.6 | 1.0 |

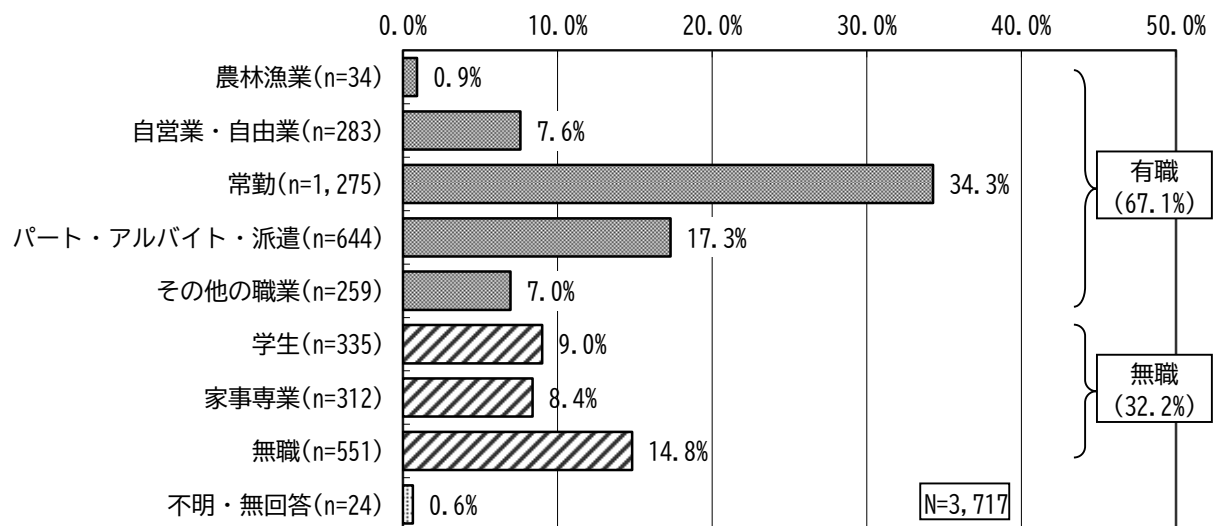
(4) 居住地域別

居住地域は「湖南地域」が25.2%と最も多く、以下、「大津地域」が23.3%、「東近江地域」が16.8%と続いている。



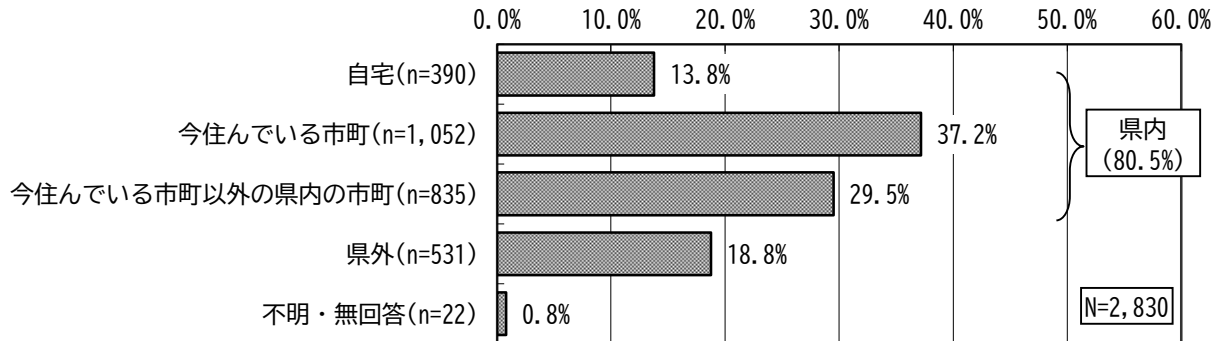
(5) 職業別

職業は、有職が67.1%となっており、そのうち「常勤」が34.3%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣」が17.3%となっている。これに対して無職は32.2%となっている。



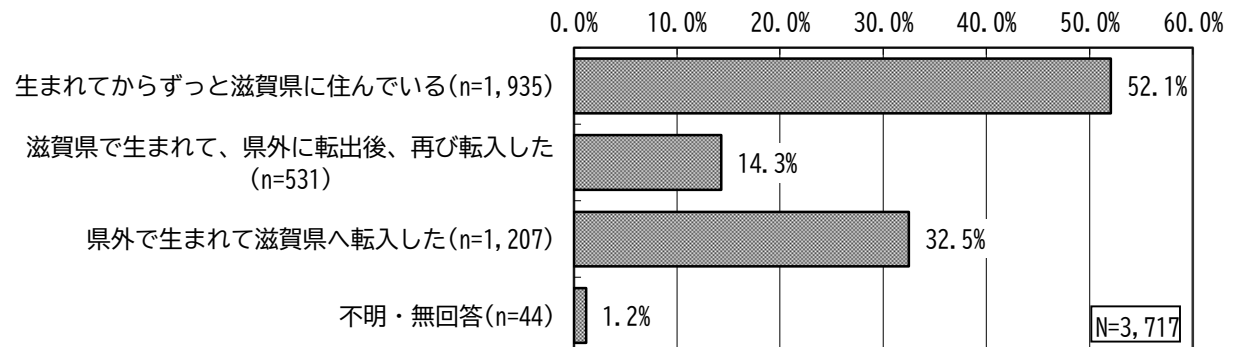
(付問1) 勤務地(通学地) 別

「農林漁業」「自営業・自由業」「常勤」「パート・アルバイト・派遣」「その他の職業」「学生」と回答した人に対して、勤務地(通学地)をたずねたところ、「今住んでいる市町」が37.2%で最も多く、次いで「今住んでいる市町以外の県内の市町」が29.5%となっている。



(6) 居住歴別

居住歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が52.1%で最も多く、次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が32.5%となっている。



(付問1) 転入後の居住年数

「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に対して、転入後の居住年数をたずねたところ、「10年以上」が76.4%で最も多くなっている。

